

対象年度	令和 2年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	きもの d a y 結城開催						予算事業名	観光振興事業費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	補助金交付要項(観光協会補助金の一部)					
			07	01	05	1101	経常経費							
総合計画体系	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分	主要事業						
	3-5つちかわれた技術を継承する伝統産業の振興(伝統産業)							重点事業						
	②伝統産業の振興						担当課係等	商工観光課						
	2結城紬の P R							商工振興係						
事業期間	継続 (平成21年度～ 年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
結城紬や和装文化の素晴らしさを実感してもらうことにより、知名度やイメージが向上し、産地の活性化が図られる。							きもの文化の衰退及びきものを着る機会の減少により、地場産業である結城紬の生産規模も減少していることから、きもの文化の発信のためイベント開催を行った。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
観光協会の実行委員会が、きものを着て結城の街並みを散策するイベントを開催する。結城紬きものレンタル、ふらり結城紬着ごこち体験、人力車乗車会、お休み処、ワークショップなどを実施する。市は観光協会補助金を通して間接的に支援する。							市民(きもの愛好者)や観光客							
							【事業をとりまく環境の変化】							
							年々参加者数が増加している。							
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】						
きものを着て結城の街並みを散策するイベントの開催				きものを着て結城の街並みを散策するイベントの開催				きものを着て結城の街並みを散策するイベントの開催						

■事業費

		H30年度	R01年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	0	0			
歳入計(千円)		0	0			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
歳出計(千円)(A)		0	0			
伸び率(%)						
備考	総合計画110ページ 予算書132ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	イベント開催数	開催日	目標	2.00	2.00	2.00
	結城紬の振興と中心市街地の活性化を図るため、イベントを開催する。		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	イベント入れ込み客数	人	目標	4,500.00	5,000.00	5,500.00
	イベントにおける入れ込み人数を把握する。		実績	5,000.00	0.00	0.00
		人	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	産業の振興及び結城紬のPRを行う上で、イベント開催の必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	実行委員会は、紬関係団体を中心に商業関係者や地元自治会関係者で構成されている。今後、新たなメンバーの参画も検討する。
	手段の妥当性	A 妥当である	実行委員会が主体となり、結城紬関連団体や地元自治会と連携するとともに、結城商工会議所の青年部など新たな委員を導入した。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	参加者数が増えれば収入の増大を図ることができるため、どちらともいえない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	結城紬だけではなく、全ての着物を着て参加することができる。一般の観光客も増加している。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	イベントの効果は高まっているものの、結城紬の魅力発信において貢献しているが、販路拡大など産地の振興に目に見える成果が出てくるまでには時間を要する。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	イベントは年々入れ込み客数は増えてきており、イベントの内容も改善を図って推進している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
一部の参加者に結城紬を着ていないと参加できないと思われる傾向があるが、着物愛好家だけでなく、市民及び観光客に事業趣旨が正しく伝わるよう、今後も情報発信に努める必要がある。また、結城紬の振興・発展並びに観光振興を図るためには、これまで以上に観光誘客活動を活発化させ、1つ1つの事業を磨き上げ、おもてなし強化を図るとともに、来場者に対してインパクトあるイベントにしていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
地域資源である「結城紬」を核として、きもの文化や本場結城紬の素晴らしさ、きものを着る機会を提供できる「きものday結城」を展開し、引き続き、イベント全体の充実を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。